

研修会開催報告

見守り活動に関する研修会

テーマ

「楽しみながら地域福祉活動をするために」
～地域の中のゆるやかなつながりを探そう～

講師 公益財団法人長野県長寿社会開発センター
主任シニア活動推進コーディネーター 戸田 千登美氏

開催日 令和6年8月28日(水)

参加者 69名



地区社協役員を対象とした、見守り活動に関する研修会を開催しました。今回の研修会では、人との出会いとつながりにより生まれる地域づくりや、楽しみながら活動できる視点について、長野県の実践活動から学びました。研修では、好きなレコードなどを持ち寄る「音楽カフェ」や男性のみのグループ「ゆるいおっさんの会」など、趣味や特技、キャリアを活かした地域の中のゆるやかなつながりや、そこから生まれた見守り活動の事例を紹介していただきました。

参加者からは、「小さなことから始めてみるこの大切さが分かった」「何かを構えてやるのではなく、少しのきっかけがあればいいのだと感じた」「まずは思っていたけどやっていなかったことを早速やろうと思う」などの声がありました。



↑長野県の実践活動はこちら



テーマ

福祉委員スキルアップ研修会
「楽しみながら、さりげない見守り活動のあり方」
～雰囲気作り・傾聴のポイントを学ぶ～

講師 仁愛大学 人間生活部 子ども教養学科
准教授 青井夕貴氏

開催日 令和6年11月2日(土)

参加者 94名



福祉委員を対象とした福祉委員スキルアップ研修を開催し、「コミュニケーションの基本を学びました。」

講義では、「関わる前に、相手はどんな人か、何を期待しているかなど、相手を知ることや関心を寄せることが大切」、「信頼関係の構築は、積極的な関わり方の積み重ねである」などのお話を聞きました。その後の演習では、普段の自分を振り返り、自分の特性や癖などを知り、人との関わり方を意識することが大切などアドバイスをいただきました。

参加者からは、「自分の言葉かけや接し方を振り返る機会になった」「相手に対して、自分だけの思いでなくどうしてほしいのか、考えてみようと思う」などの声がありました。

